製品アクティベーションガイド（オンライン）

ActiveImage™ 2022 PROTECTOR

Virtual

第４版



内容

はじめに 3
1. HyperAgent のキーで ActiveImage Protector をインストール.....4
2. ハイパーバイザーの登録 7
3. 仮想ゲストバックアップ用のキーで ActiveImage Protector をインストール 10
4. アクティベーションの確認.....13
5. 自分自身のバックアップ機能のアクティベーション解除について.....15

はじめに

ActiveImage Protector 2022 Virtual は、ハイパーバイザーが Microsoft Hyper-V, VMware vSphere の場合に限り、以下の 2 種類のプロダクトキーで構成されます。

- 仮想ゲストバックアップ用
  仮想ゲストに ActiveImage Protector をインストールしてバックアップをおこなう場合に使用します。
- HyperAgent
  仮想ゲストのバックアップをエージェントレスでおこなう場合に使用します。
  また、Virtual ライセンス利用先のハイパーバイザー登録の際にも使用します。

仮想マシンに ActiveImage Protector をインストールして運用する場合、単に ActiveImage Protector を仮想ゲストバックアップ用のプロダクトキーでインストールするだけでは、仮想マシンのオンラインアクティベーションがおこなえません。
仮想マシンのアクティベーションをおこなうためには、Windows OS に HyperAgent のプロダクトキーで ActiveImage Protector をインストールし、HyperAgent 上でバックアップ対象の仮想マシンが存在するハイパーバイザーを登録する必要があります。
ハイパーバイザーを登録することによって、Virtual ライセンスの利用先ハイパーバイザーを特定し、当該ハイパーバイザー上の仮想ゲストバックアップ用プロダクトキーでインストールされた ActiveImage Protector がアクティベーション可能となります。

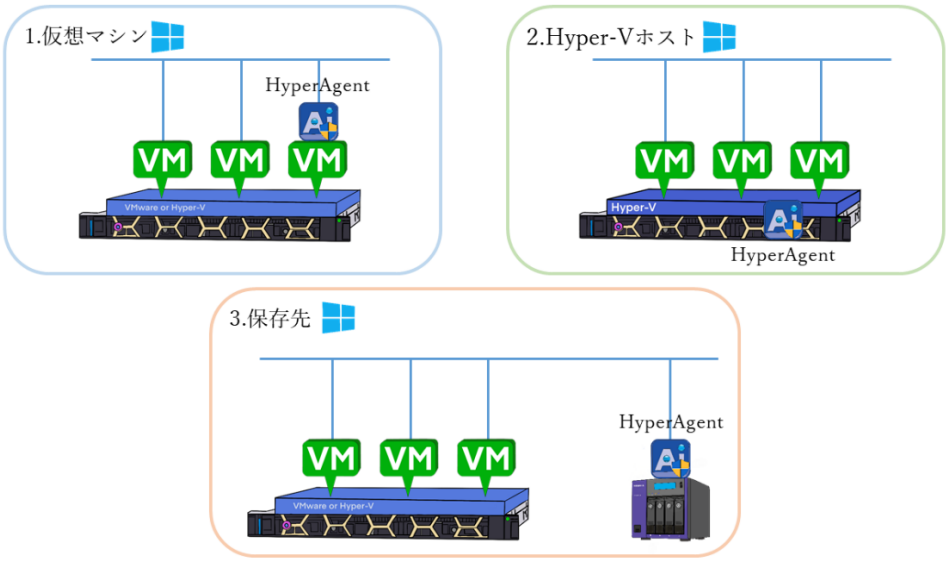
エージェントレスでバックアップ運用をおこなう場合は、エージェントレスでバックアップ等をおこなうための管理用マシンへ HyperAgent をインストールすることによって、運用可能となります。

このガイドでは、ActiveImage Protector 2022 Virtual のオンラインアクティベーション手順を解説します。

エージェントレスでバックアップをおこなう場合には P.9 までを参照してください。
その後 HyperBack のタスクを作成することで、エージェントレスによるバックアップ運用が可能です。

1.　HyperAgent のキーで ActiveImage Protector をインストール

ハイパーバイザーを登録するための HyperAgent をインストールします。
HyperAgent は、バックアップ対象の仮想マシンや仮想ホスト、保存先の NAS など、バックアップ対象の仮想マシンが存在するハイパーバイザーへ通信可能な Windows OS であれば、どこにでもインストール可能です。



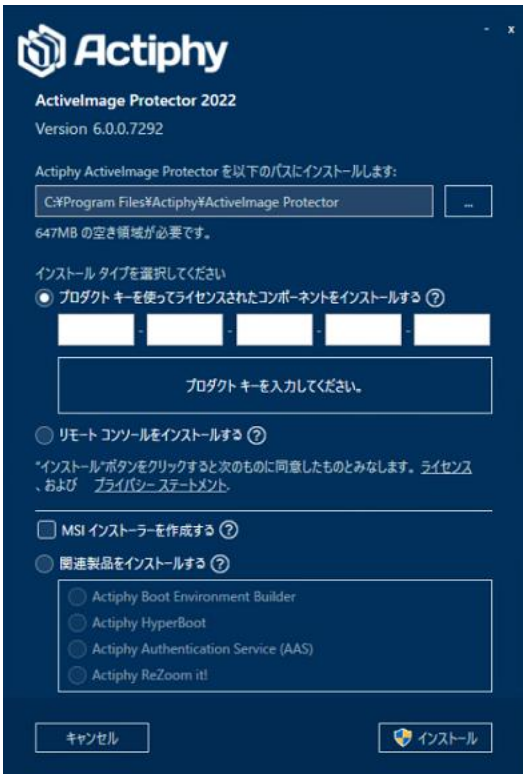
同一プロダクトキーで複数のライセンスを所有している場合、1 台の HyperAgent で複数のハイパーバイザーを登録することが可能です。プロダクトキーが異なる場合、プロダクトキーごとの HyperAgent でハイパーバイザーを登録する必要があります。

また、1.仮想マシンや 2.仮想ホストへ HyperAgent をインストール、もしくは HyperAgent でエージェントレス機能を利用する場合は、HyperAgent 自身のバックアップをエージェントベースとしておこなうことができます。

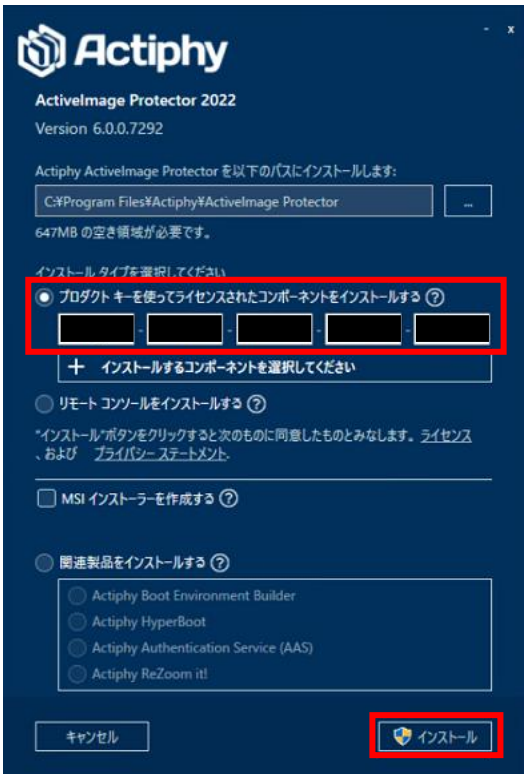
なお、HyperAgent 自身のバックアップは購入ライセンス数までです。そのため、所持ライセンス数を越えた数の仮想マシンへ HyperAgent をインストールしても、自分自身のバックアップをおこなうことはできません。

したがって、エージェントベースのバックアップ運用において HyperAgent を仮想マシンへインストールする場合、基本的にはハイパーバイザーの登録、およびそのマシン自身のバックアップ用として HyperAgent のプロダクトキーで ActiveImage Protector を 1 台へインストールし、その他の仮想マシンには仮想ゲストバックアップ用のプロダクトキーでインストールしてください。

1. ActiveImage Protector のインストーラーを起動します。



2. HyperAgent のプロダクトキーを入力して［インストール］をクリックします。



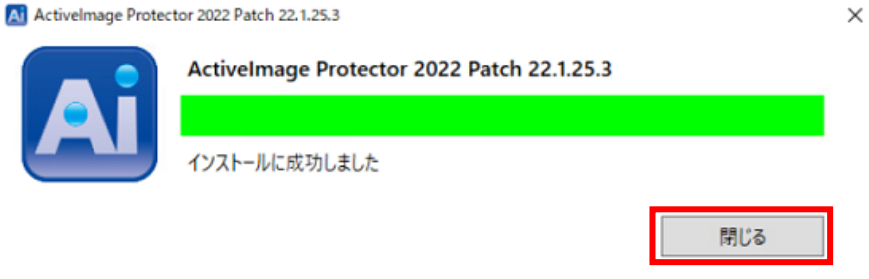
3. インストールが完了したら［終了］をクリックします。



4. パッチがリリースされている場合は、実行し［インストール］をクリックします。
※最新のパッチは以下の URL よりダウンロード可能です。
URL : https://www.actiphy.com/ja-jp/download/update/



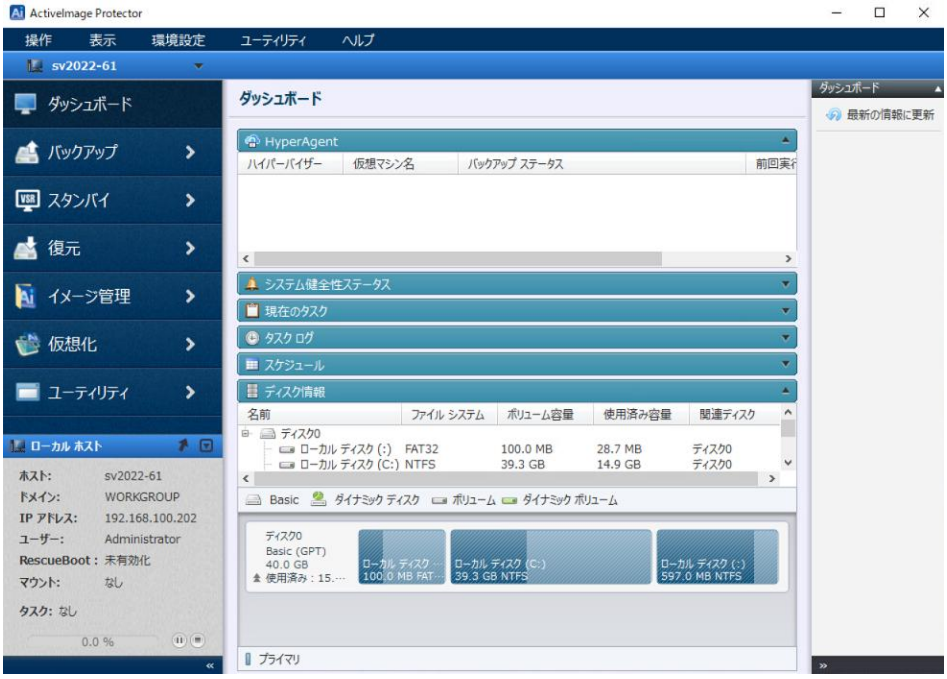
5. インストールが完了したら［閉じる］をクリックします。



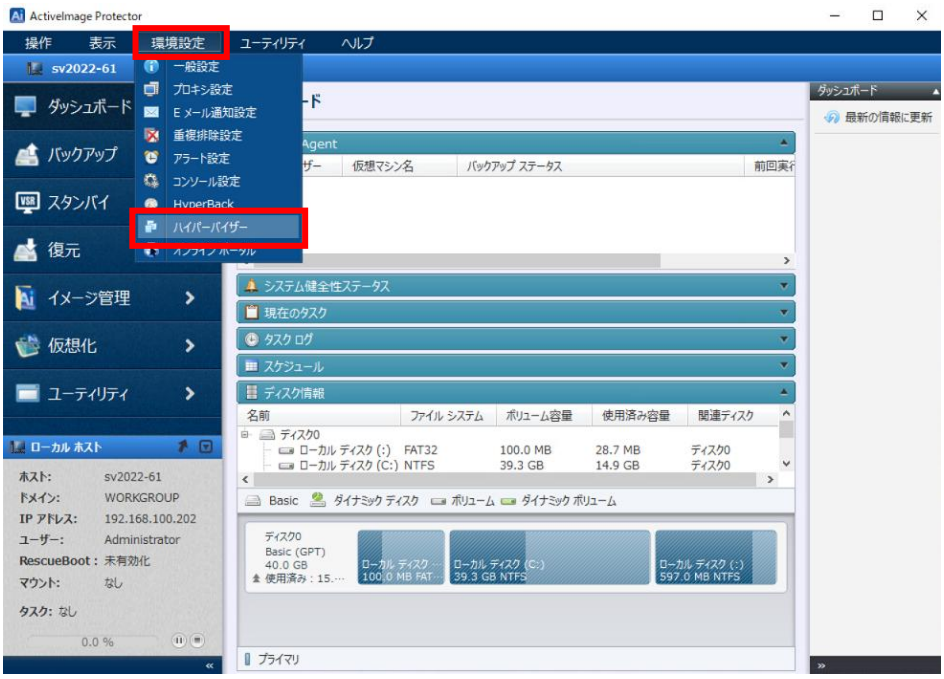
2. ハイパーバイザーの登録

インストールした HyperAgent 上で、バックアップ対象の仮想マシンが存在するハイパーバイザーを登録します。

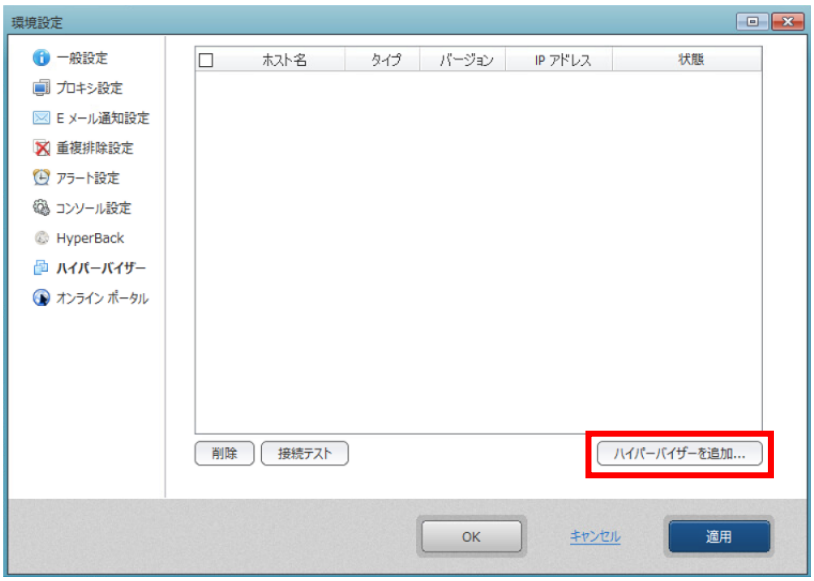
1. ActiveImage Protector を起動します。



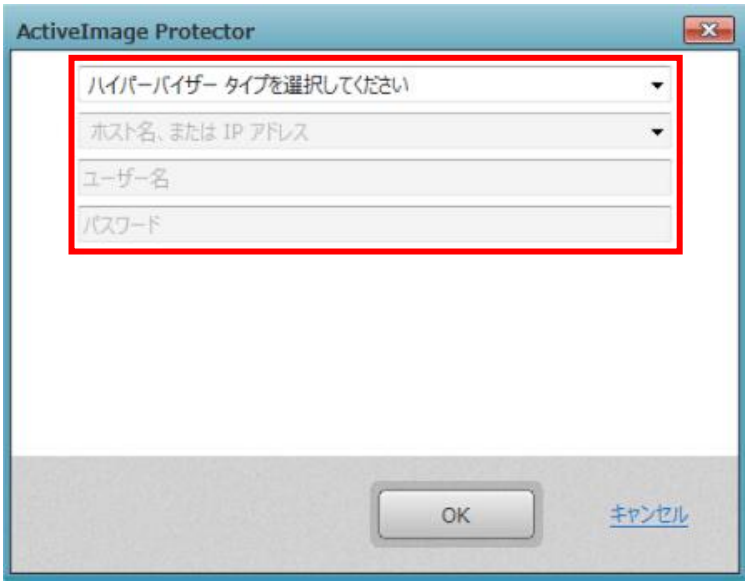
2. [環境設定] – [ハイパーバイザー] をクリックします。



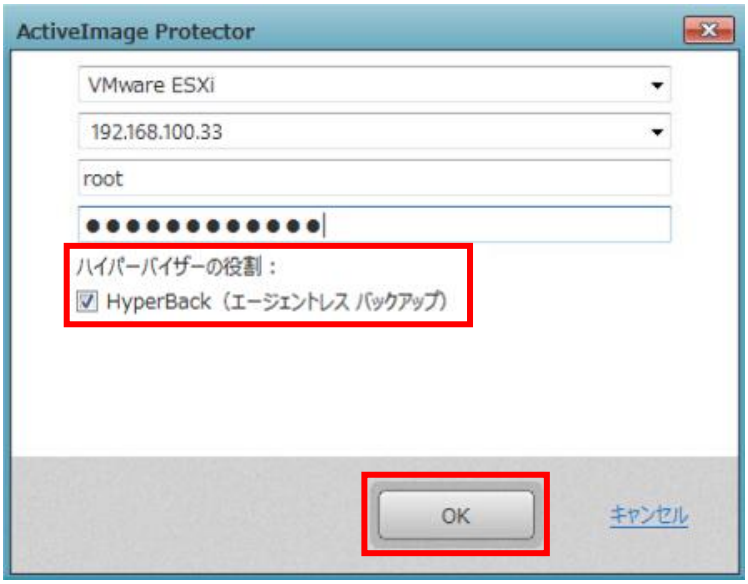
3. [ハイパーバイザーを追加] をクリックします。



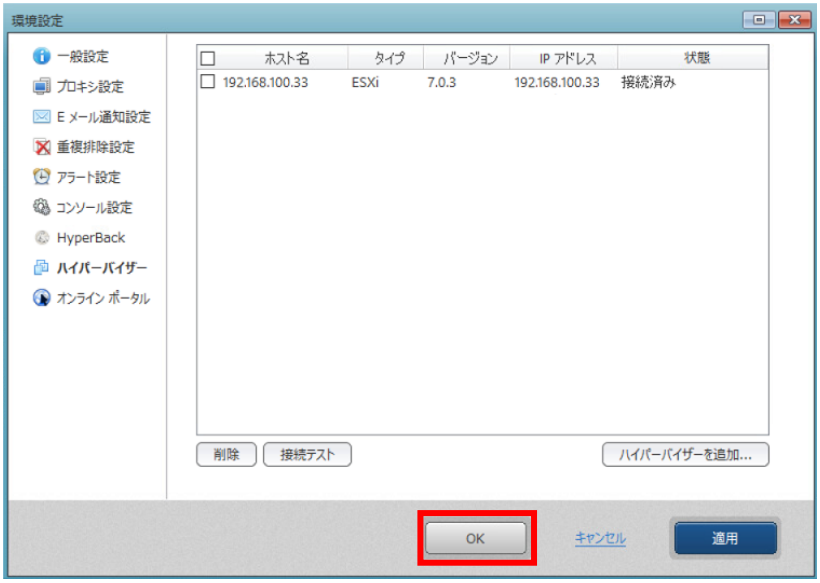
4. [ハイパーバイザータイプを選択してください] よりハイパーバイザーの種類を選択し、[ホスト名、または IP アドレス] , [ユーザー名] , [パスワード] を入力します。



5. [OK] をクリックします。
※パッチを適用していない場合、必ず［Hyperback（エージェントレスバックアップ）］の項目にチェックしてください。パッチ適用済みの場合は項目が表示されません。



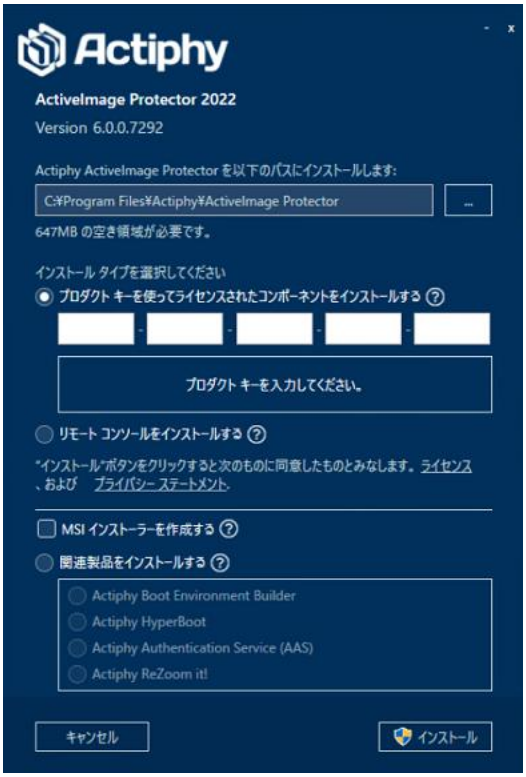
6. ハイパーバイザーがリストに表示されたら［OK］をクリックします。
これで、ハイパーバイザーの登録は完了です。
同一プロダクトキーで複数ライセンスを所持している場合、1 台の HyperAgent へすべてのハイパーバイザーを登録することや、複数の HyperAgent へそれぞれのホストを登録することもできます。



3. 仮想ゲストバックアップ用のキーで ActiveImage Protector をインストール

バックアップをおこないたい仮想マシンへ、仮想ゲストバックアップ用のプロダクトキーで ActiveImage Protector をインストールします。

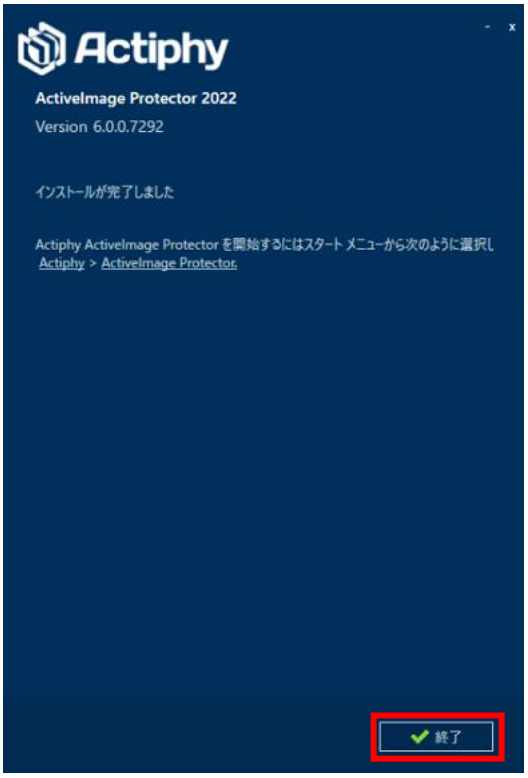
1. ActiveImage Protector のインストーラーを起動します。



2. 仮想ゲストバックアップ用のプロダクトキーを入力して［インストール］をクリックします



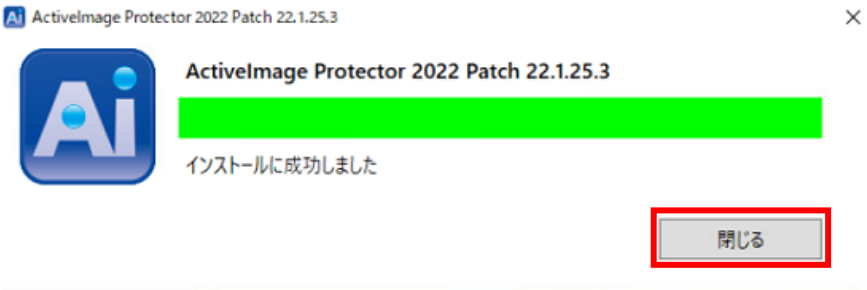
3. インストールが完了したら［終了］をクリックします。



4. パッチがリリースされている場合は、実行し［インストール］をクリックします。
※最新のパッチは以下の URL よりダウンロード可能です。
URL : https://www.actiphy.com/ja-jp/download/update/



5. インストールが完了したら［閉じる］をクリックします。



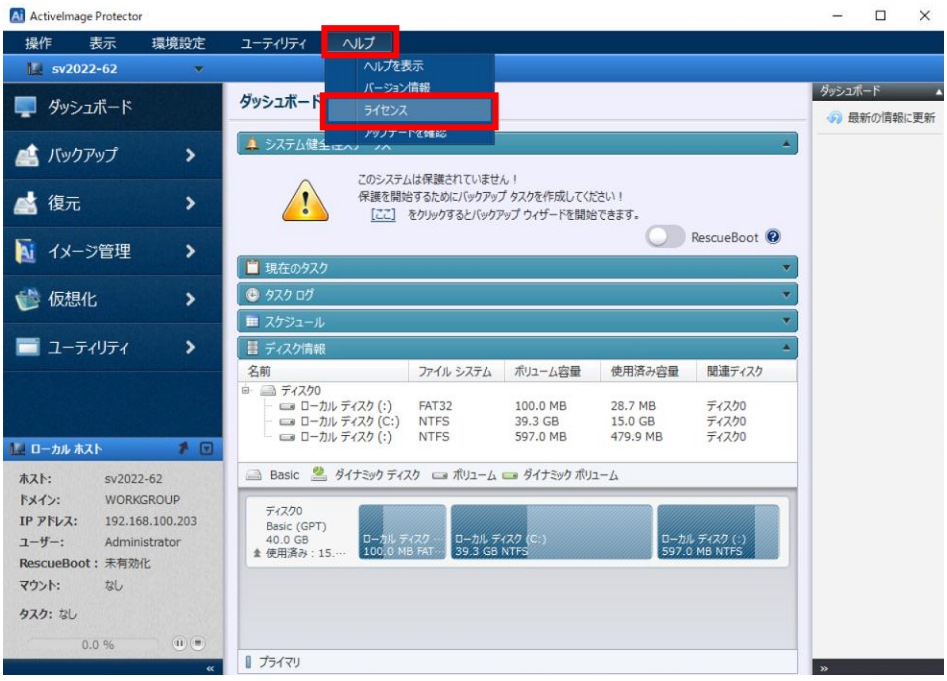
4. アクティベーションの確認

仮想ゲストバックアップ用のプロダクトキーを使用してインストールをおこなった ActiveImage Protector が正常にアクティベーションされているか確認します。

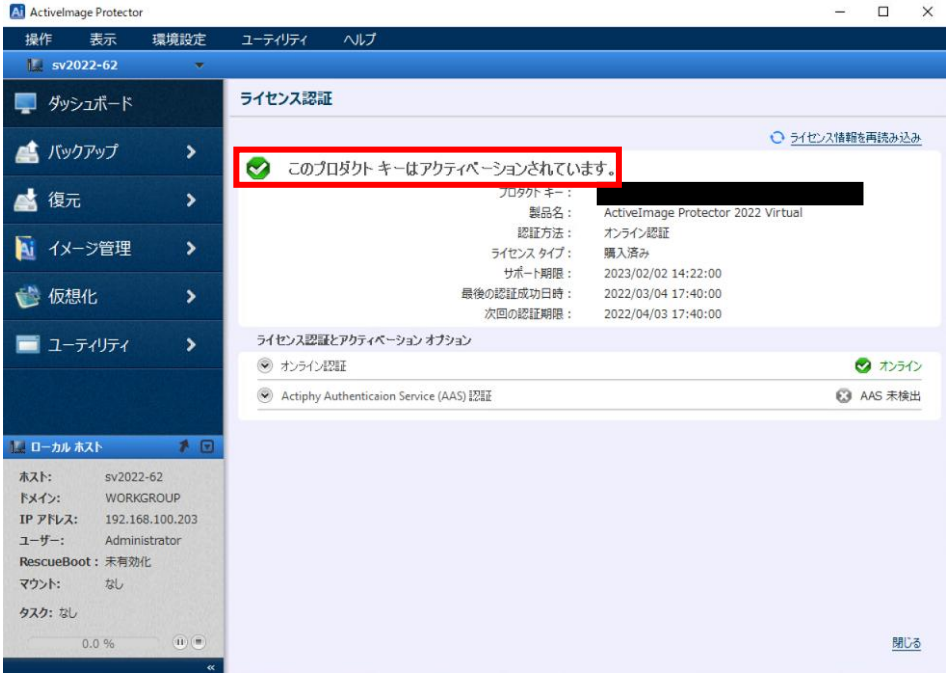
1. ActiveImage Protector を起動します。



2. [ヘルプ] - [ライセンス] をクリックします。



3. [このプロダクト キーはアクティベーションされています。] と表示されていれば、アクティベーションは完了です。



5.　自分自身のバックアップ機能のアクティベーション解除について

HyperAgent のキーでインストールした環境自身のバックアップは、1 番目にアクティベーションした環境が使用権を得ます。
後から同一のプロダクトキーでインストールした環境ではライセンスオーバーとなり、自分自身のバックアップタスクを作成しようとすると、下記のメッセージが表示されタスクが作成できません。

このプロダクトキーでは使用できない機能です。
[OK]

このような状況においてお客様側でアクティベーションを解除する方法がないため、自分自身のバックアップを取得したい環境を、最初にアクティベーションした環境から別の環境へ移行したい場合には、アクティファイのサポート窓口へご連絡ください。